



一般社団法人 岩手県ラグビーフットボール協会の取り組み

当協会は平成30年に法人化を行い、一般社団法人岩手県ラグビーフットボール協会となりました。我々は、ラグビーフットボールの普及振興に関する事業を行い、その健全なる発展を図るとともに、県民体力の向上と明朗なスポーツマンシップの涵養に努め、もって地域社会の発展に寄与することを目的として活動しております。令和4年度の県内登録チーム数は55チームで、登録競技者数1551人となっています。今回は当協会加盟の盛岡市ラグビーフットボール協会が中心となって取り組む、ジュニア競技人口拡大の取組を紹介します。

2019年ワールドカップの自国開催では、ラグビー旋風が日本中を駆け巡ったことは記憶に新しい訳ですが、競技人口の増大には繋がっていないのが現状です。その現象は県内ラグビー界においてより顕著で、少子化という社会現象と共に高校生プレーヤーの減少に歯止めが掛からず、全国大会県予選への参加選手数も減少を続けています。

ワールドカップの成功により、ラグビーの認知度が上がった事で小学生プレーヤーが若干増えましたが、県内のラグビーシーンは中学生になると競技を続ける環境が身近に無く、中学への進学とともに別の競技へ移行してラグビーから離れてしまう選手が多いのが現状です。

そこで盛岡市ラグビーフットボール協会では、盛岡市近郊から若年層プレーヤーの人口拡大を目的とした活動と、部員が少なく満足な活動が出来ていない高校生ラグビーが他校選手との交流を図りながら試合が出来る環境を提供する目的とした事業を令和3年から実施しております。

1. 盛岡ラグビースクール少年団の活動サポート

- ラグビー体験会の開催や活動場所の確保



2. 平日放課後ラグビーの運営

- ラグビースクール経験者が中学進学後もラグビーに触れることができる機会を増やす
- 他のスポーツに取り組む中学生がラグビーに触れる機会を設ける
- 試合や大会出場を目的としない「スポーツ参加」を希望する中学生へ活動の場を提供



3. 盛岡ラグビーフェスティバルの開催

- 高校の部：当協会に所属する高校で合同チームを構成し、市外の高校チームとの対戦
- 幼児、小学、中学生の部：市内外のラグビースクールや中学生チームを招いた交流戦



これらの事業は、まだまだ種まき状態の為、本来の目的とする競技人口拡大が結果として表れるには長い道のりではありますが、活動を継続し、これからの時代に合ったラグビー競技のあり方を模索し、更に磨きをかけた企画、運営が出来るよう、協会関係者一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

2023年はラグビーワールドカップがフランスで開催されます。前回の大会に続き、日本代表が躍進することで再びラグビー旋風が巻き起こり、楯円球を持ってグラウンドを駆け巡る小さな子供達が増え、共に中学生や高校生プレーヤーが増えるよう、当協会が地元のラグビーをサポートして参ります。